

関係機関連絡先

行政関係機関		緊急指定病院	
名称	電話番号	名称	電話番号
伊勢崎市役所	0270-24-5111	伊勢崎市民病院	0270-25-5022
赤堀支所	0270-62-1151	伊勢崎佐波医師会病院	0270-24-0111
あずま支所	0270-62-1311	鶴谷病院	0270-74-0670
境支所	0270-74-1111	福島病院	0270-24-3456
伊勢崎市消防本部	0270-25-3510	美原記念病院	0270-24-3355
伊勢崎警察署	0270-26-0110	石井病院	0270-21-3111
伊勢崎行政県税事務所	0270-25-0782	原病院	0270-74-0633
伊勢崎保健福祉事務所	0270-25-5066	大島病院	0270-25-2428
伊勢崎土木事務所	0270-25-4010		
群馬県中部農業事務所	027-233-0501		

我が家の防災メモ

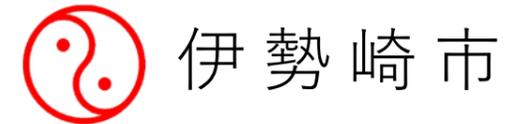
災害時に備えて、家族などの連絡先を確認しておきましょう。また、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

我が家の避難所			
家族の集合場所			
緊急時の連絡先			
家族の名前	生年月日	血液型	携帯電話／会社・学校

メモ

非常持ち出し品チェックリスト ※ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 衣類（雨ガッパ・下着等）	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 非常食品	<input type="checkbox"/> ろうそく・ライター、マッチ等	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・電池	<input type="checkbox"/> 軍手、手袋	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 救急医療品	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



ため池ハザードマップ

～大切な命を守るために～



問い合わせ先

伊勢崎市 農政部 農村整備課

TEL：0270-27-6271

FAX：0270-23-9800

ため池ハザードマップ

「ため池ハザードマップ」は、大地震等による災害でため池が決壊した場合、または決壊するおそれのある場合の備えとして、浸水区域や避難場所を事前に把握し、安全な避難活動にご活用いただくとともに、地域やご家族等の防災情報の共有、日頃の防災意識の向上を図ることを目的としています。

◎ ため池の決壊要因

大雨 集中豪雨等によってため池の水位が上昇すると堤体に水が浸透し漏水が発生したり、越水した水の勢いで堤防が浸食され、決壊に至る恐れがあります。

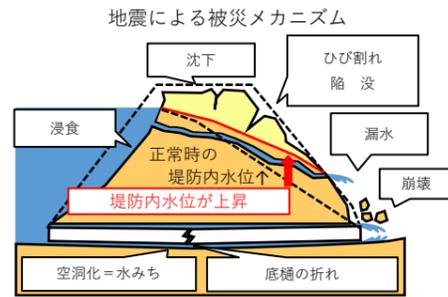
地震 地震では、揺れにより堤防に異常な力を受け、亀裂や漏水が発生したり、地盤の液状化により堤防が変形することで決壊に至る恐れがあります。



漏水・越水・亀裂・液状化



決壊



◎ ため池ハザードマップ活用方法

① 地図上で住んでいる場所と想定される浸水の深さを確認しましょう

この「ため池ハザードマップ」には、予想される浸水の範囲と深さがランク別に色分けされています。自分の住んでいる場所は浸水の危険があるのか、予想される浸水の深さはどれくらいになるのかを確認しましょう。ただし、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、この通りにならないことがあります。

② 避難場所を確認しましょう

「ため池ハザードマップ」で自分の住んでいる地区で指定されている避難場所が地図上でどこにあるのか確認しましょう。

③ 避難経路を確認しましょう

「ため池ハザードマップ」で自分の住んでいる場所から避難場所まで、どの道を通れば良いか、避難経路を地図上で確認しましょう。地図上での確認が済んだら、実際に避難場所まで歩いてみましょう。安全で歩きやすい道を選び、避難場所までの経路を確認して、所要時間も計ってみましょう。実際に避難するときは、夜間・大雨・大人数での移動が考えられるため、所要時間は平常時の倍以上かかる可能性があります。

④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう

「ため池ハザードマップ」は家族と一緒に確認しましょう。避難が必要になったときは、周辺住民、親戚、知り合いなどにこれから避難することと避難先を伝え、どこの施設に避難しているのか分かるようにしておきましょう。安否確認には、災害伝言ダイヤル（171）の利用も有効です。

◎ 災害関連情報入手先

伊勢崎市役所ホームページ <https://city.isesaki.lg.jp>

いせさき情報メール t-isesaki@sg-m.jp

いせさき情報メールは、登録した携帯電話やパソコンのメールアドレスへ一斉にメッセージを送信するサービスです。

- ◇登録方法
- (1) 上記アドレスに空メールを送信してください。(下のQRコードを読み取ると便利です。)
 - (2) 「仮登録受付完了」メールが届きますので、本登録URLに接続してください。
 - (3) 本登録画面にて利用規約を確認いただき、同意の上登録してください。
 - (4) 「本登録完了」メールが届き、登録完了となります。



- ◇配信する情報
- ・防災情報（地震情報、注意報以上、警報以上、避難情報など）
 - ・防犯情報
 - ・放射線量など（測定結果）
 - ・高温注意情報
 - ・PM2.5など大気汚染情報
 - ・その他

◎ 警戒レベルと住民がとるべき行動、避難情報等一覧

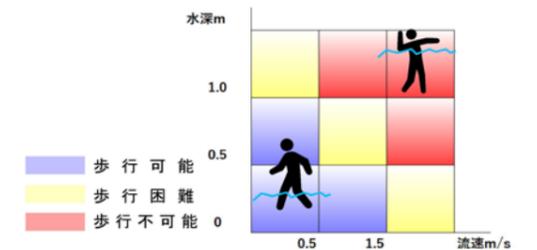
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	
5	既に災害が発生・切迫している状況です。直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保	市町村 発令
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~			
4	全員速やかに避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示	
3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難をしましょう。	高齢者等避難	気象庁 発表
2	ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報	
1	最新の防災・気象情報を入手するなど、災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は自主避難を始めてください。

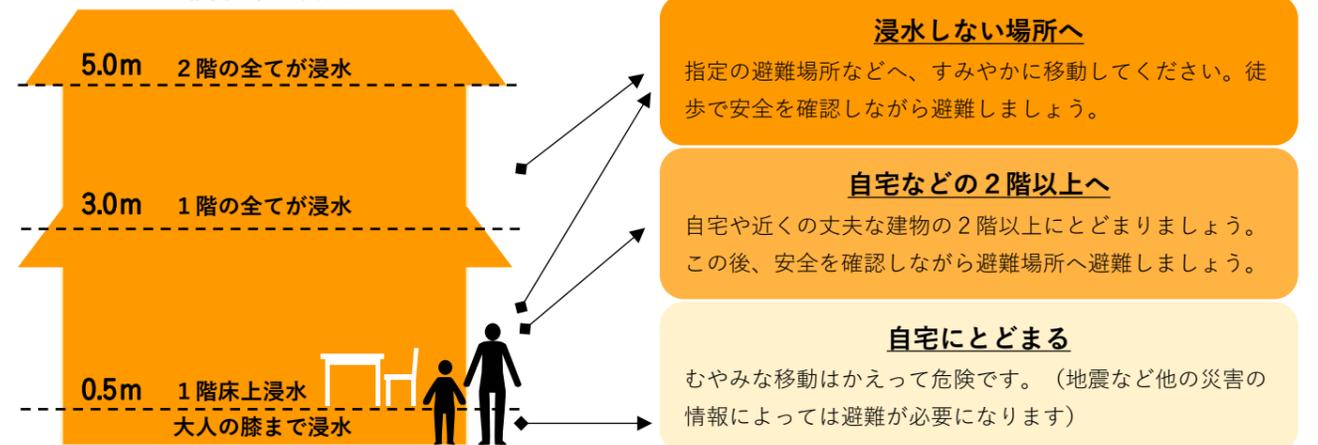
## ◎ 避難の判断

- ・各自、避難が必要か判断して行動しましょう。
- ・避難するときは、できるだけ近隣所へ呼びかけを行いましょう。
- ・想定される浸水深さによって避難行動がことなります。
- ・浸水深さが浅くても流速が速いと歩行が困難になります。
- ・他の災害のことも考え、現状を的確に判断し避難行動をしましょう。

### 安全に避難できる目安



### 浸水深の目安



## ◎ 情報の伝達経路

避難に関する情報は、下記のような経路で住民の皆さんに伝達されます。

